

9月定例教育委員会 議事録要旨

日時：令和3年9月24日 13:30開会

場所：中津市役所4階研修室

出席者：栗田教育長、中島委員、自覚委員、横松委員、本田委員
黒永教育次長、奥久教育総務課長、岩久学校教育課長、岩丸社会教育課長、
末吉体育・給食課長、野畑小幡記念図書館長、山本生涯学習推進室長、
木村教育総務課主幹

○9月教育委員会報告

栗田教育長から、9月時における教育委員会事務局の動き等報告。

○令和3年度9月補正予算（第5号）について

奥久教育総務課長から、追加補正の内容について説明。
特に意見等はなかった。

○令和3年第3回定例市議会一般質問について

黒永教育次長から、答弁内容について報告。

- ・いじめの調査について、アンケートはいつ行っているのか。
→アンケートは大体学期に1回、学期末にとるところが一般的です。必要に応じて、またそれ以外の時期にとることもあります。
- ・いじめの度合いや重大ないじめみたいなものは、学校として把握しているのか。
→例えば生命にかかわりそうな重大事案については、教育委員会の中で専門委員会もありますし、状況によっては市長に報告し、市長部局に第三者委員会のような委員会をつくって調査することもできるようになっております。中津市の場合は、幸いそこまでの重大ないじめという発生件数はございません。
- ・いじめの詳しい調査をするようになってから、しなかったときに比べて、調査の効果や学校等の意見などがあるのか。
→この調査だけで終わらずに、学校では上がってきた内容について、子どもたちに教育相談を行っていくようにしていますので、現状についての的確に把握できるようになってきたというのが、1つ大きな点かなというふうに思っています。その中で子どもたちの困りを継続的に見ながら、そして現状について解消の方向で、チームとして学校として取り組むことができているというのが、今、この調査がしっかりできるようになって、よかった点であるというふうに認識しています。

・日本語教室は、大人の方も対象なのか。また、何人ぐらいの参加があるのか。

→日本語教室は今公民館2カ所で行っております。まず1つが、豊田公民館の日本語教室「合い言葉」の対象は、子どもを含めて日本に在住をしている家族となります。お父さん、お母さんで日本語ができない方もいますし、学習についていくのが難しいなというような程度の子どももいて、そういう親子をサポートするというのが中心となります。月に1回、約15人の親子が参加しています。もう一つが、如水コミュニティーセンターの日本語教室「きらきら」で、自動車関連産業や農業、技能実習生で来られている方々、ベトナムの方が一番多いです。その方々が、日本にいる間に日本語検定を受験します。レベルがいろいろあり、そのレベルに合わせて、日本語検定に合格するための学習をするというようなことで、年齢的に二十歳前後の方が多ようです。月に2回、約20名の方が参加されております。

その他特に意見等はなかった。

○その他

末吉体育・給食課長から、10月10日日曜日、ダイハツ九州スタジアムでの令和3年度宝くじスポーツフェア・ドリームベースボールの開催について説明。また、11月7日に実施予定のオリンピックデーラン中津大会の中止について報告。

岩久学校教育課長から、9月6日から10日に実施したオンライン授業をするに至った経緯と、実際にオンライン授業を実施し見えてきたことについて報告。

野畑小幡記念図書館長から、シニア世代のお奨めの本のリスト及び子どもの月齢に応じたお奨め本のリスト、水引でつくったしおりについて説明。また、「なかはく」とのコラボの図書リストについて説明。